広報にしあわくら

5月号　NO.720

西粟倉村

特集

ちょっと不思議な動物園

みんなが使える あわくら会館

あわくら会館が全館オープンし3年が経とうとしています。役場庁舎と図書館が一体となり、共有スペースや会議室は誰でも、やってみたいことをやってみる空間として使っていただけることから、村内外問わず多くの方に利用していただいています。これまでに、村民講師企画として多種多様な出張講座やワークショップ、カフェやお祭りなどその用途は多岐にわたっています。

今回はあわくら会館の一角で「こうじん園長の小さな不思議動物園」として動物園を開催されている講神航さんにお話をお伺いしました。

表紙の人

講神 航 さん

Wataru Koujin

目次

特集
ちょっと不思議な動物園 3-6
令和5年度西粟倉村当初予算 8-9
議会だより 10-15
にしあわくらっ子 16-17
あわくら会館 18-19
村からのお知らせ 23-29
社協だより 30
その他 31

村で小さな動物園

講神航さん（以下敬称略）

月に1回程度、自宅で飼っているトカゲや昆虫など小さな動物を連れてきて、部屋に並べて子どもたちに見てもらったり、実際に触れてもらったりしています。

今は村内のエーゼログループで養蜂チームとして働いていますが、もともと他県市営の動物園で飼育員として働いていました。何年か務めている中で、動物の事や飼育について勉強もして、転職をきっかけに西粟倉村に移住した後に、まさか移住先でこうして自分が動物園を開けるなんて思っていなかったです。でもそれは、やろうと思えばやらせてもらえる、やってみたいことを実践できる環境があったからだと思っています。

動物園を開こうと思ったのは村の子どもたちが来てくれて、楽しんでくれればいいなと思ったことがきっかけです。子どもたちが動物をみてはしゃいでいたり、勉強してくれている姿を見ると飼育員として務めていて楽しい瞬間でした。今は、出来れば楽しんで終わりではなくて、その後に役に立つことも学んでもらえればいいなと思いながら、自分自身も楽しみ、悩みながら開催しています。

直接見て、触れて分かること

講神　動物園のタイトルにもある「ふしぎ」というのは少し変わった動物を連れてくることが多いのでつけてもらいました。　もともとトカゲを自宅で飼っていて連れてきていたんですが、そこからヘビやカメ、デュビアというゴキブリの仲間など動物を徐々に増やして今に至ります。

初回の開催で子どもたちから思ったよりも良い反応をもらえたんです。興味をもって来てくれる表情の子、興味はあるけど怖そうな子、中でも「気持ち悪い！」と言う子が居ると、少しでも、人（外敵）から身を守るための色であることや、形だということに踏み込んでもらいたくて「どうして気持ち悪いと思う？」と問いかけて考えてもらうきっかけを作っています。飼育員として動物園にいたときには、見に来てくれる方から直接話を聞くこと、話すことがなかなか出来なかったので、子どもたちの反応をダイレクトに受け取ることが出来てとても面白いです。実際に、動物を目と鼻の先で見てみないと分からないこともたくさんあると思うので、以前勤めていた動物園のようになにか学びになる要素も伝えたいと思っています。

西粟倉での生活との関わり

講神　子どもだけではなく、村内の大人の方にも何か伝えられたらと思います。例えばヤマカガシというヘビは、兵庫県、鳥取県付近の個体は青いものが多いですが、西粟倉村の個体はびっくりするくらい鮮明な青色なんです。これからは、西粟倉ならではの動物や西粟倉にいるからこそ実感できるお話が出来たり、体験してもらえたら面白いのでは

ないかと考えています。

なんのために動物園があるのかというところが大事だと思っていて、来てくれる方に楽しんでもらうことは前提ですが、「楽しい」「かわいい」で終わりにしたくなくて、村の中での生活でふとした瞬間に思い出してもらえるように、より身近な生き物について知ってもらえたらと思います。また、このあわくら会館の中で開催させてもらえているので、図書館にくるきっかけになることが出来れば嬉しいなとも思っています。

子どもが何でも捕まえてきてしまうというお母さんがいれば相談にのりますし、こういうのが見てみたい！やってほしい！ということがあれば可能な限りお応えしていきたいです。

実は意外と知らない生き物の秘密や西粟倉村だからこそ知ることが出来る情報を、講神さんならではの方法で伝えられています。

あわくら会館で行われているイベントは毎月の折込チラシをご覧ください。

文　西粟倉村広報係　宮脇
撮影・デザイン　SANSAI inc.

〈今月のデザインについて〉
五月晴れをイメージした群青色を使って、生き物がイキイキして見える季節を表現しています。

広報にしあわくらより

2年間にわたり「村の元気」をテーマに村内で活動されている「人」を中心に特集をしてきました。時代、社会のめまぐるしい変化が有る中で西粟倉村では様々な取り組みが進んでいます。次号から、西粟倉村で行われている取り組みに着目し、西粟倉村の「今」を皆さんへお伝えできる広報紙を目指してまいります。

西粟倉村議会議員8名の抱負

①年齢 ②当選回数 ③職業

芦谷　武司
① 66歳　②
③ 元中学校長

教育・子育ては地域づくりの根幹をなすもの。学校園がどの子にとっても楽しい所であるよう支援します。誰もが住みやすいと思える村づくりを行います。ひとりの想いを大切に。

新田　義純
① 60歳　②
③ 元小学校長

村議会に議席を与えてくださいましたことに、心より御礼を申し上げます。情報の見える化や説明責任、村の将来を担える人材の育成などに、しっかりと取り組んでまいります。

大上　伊三男
① 69歳　② 2回
③ 林業

活力の有り続ける村に成るためには、均衡の保たれた夫々の施策の取り組みが必要です。財政を鑑み是非を問う議会議員として日々精進して参りますのでよろしくお願い致します。

金田　豊治
① 69歳　② 6回
③ 製材業

コロナ禍において議会活動が疎かになっていたのは否めない事実だと思っています。今期は議会の本分の一つでもある村民の皆さんとの会話を重視して村政に反映していきます。

井上　直美
① 53歳　② 1回
③ 会社員

皆様の温かいご支援に心から感謝致します。この地域に根を張る一人の女性として、村民ひとりひとりが日々の生活を感じられる西粟倉村へと、具体的な問題定義を行います。

田中　貞己
① 72歳　② 4回
③ 建築業

5期目当選させて頂き有難うございました。村民の皆様の声を聞きボランティア精神でこれまでの経験を活かし更に住みよい村づくりに一生懸命働かせていただきます。

河野　玲
① 60歳　② 2回
③ 農業

農業活性化に向けてがんばります。村の米・野菜づくり。農地を荒らさない。そして組織づくり。その為にも、若手担い手の育成が必要です。この取組みに力を入れてまいります。

福井　正
① 73歳　② 1回
③ 元会社員

私は少子高齢化対策と高齢者、体の不自由な方が本当の意味で「生きるを楽しめる」村づくりを目指します。村予算では歪みのない、村民の方に理解して頂ける予算と説明責任を果たします。

令和５年度

西粟倉村当初予算について

令和５年度の当初予算が３月定例議会で議決されました。予算の規模は、一般会計予算が対前年比 4.1%減 41 億 2,678 万円、これに特別会計と企業会計を合わせた総額は、対前年比 4.1%減の 49 億 5,936 万円となりました。
※端数処理の都合上合計額および比率が合わない場合があります。

■ 歳出 性質別（一般会計分）

	令和５年度	令和４年度	増減額	構成比	増減率
総　　額	4,126,782	4,303,736	▲176,954	100	▲ 4.1
普通建設事業費(道路･施設などの整備費)	1,153,186	1,136,903	16,283	27.9	1.4
物件費(消耗品や委託料など)	1,080,420	1,270,864	▲190,444	26.2	▲15.0
人件費(議員報酬、職員給与など)	531,577	530,400	1,177	12.9	0.2
公債費(借入金の返済)	518,705	485,715	32,990	12.6	6.8
補助費等(助成金など)	363,055	422,757	▲59,702	8.8	▲14.1
繰出金(他の会計への繰出)	187,554	188,625	▲1,071	4.5	▲ 0.6
扶助費(福祉、医療、給付金など)	123,787	116,903	6,884	3.0	5.9
積立金(基金への積立金)	110,199	82,789	27,410	2.7	33.1
維持補修費(施設等の修繕費など)	32,317	40,443	▲8,126	0.8	▲20.1
予備費	20,032	23,827	▲ 3,795	0.5	▲ 15.9
災害復旧事業費	5,950	4,510	1,440	0.1	31.9

（単位：千円,%）

■歳出 目的別（一般会計分）

	令和５年度	令和４年度	増減額	構成比	増減率
総　　額	4,126,782	4,303,736	▲176,954	100%	▲4.1
総務費	1,028,417	1,065,113	▲36,696	24.9	▲3.4
衛生費	643,553	227,114	416,439	15.6	183.4
商工費	547,330	1,070,707	▲523,377	13.3	▲48.9
公債費	518,705	485,715	32,990	12.6	6.8
民生費	402,346	393,426	8,920	9.7	2.3
農林水産業費	342,860	369,763	▲26,903	8.3	▲7.3
教育費	260,396	367,416	▲107,020	6.3	▲29.1
土木費	243,619	192,938	50,681	5.9	26.3
消防費	75,125	63,939	11,186	1.8	17.5
議会費	44,399	43,778	621	1.1	1.4
予備費	20,032	23,827	▲3,795	0.5	▲15.9

（単位：千円,%）

■ 一般会計を村民1人あたりに換算してみると…

一般会計	1人あたり予算額	1世帯あたり予算額
4,126,782千円	3,041千円	6,971千円

（令和5年2月末現在人口：1357人（外国人含む）世帯数：592世帯）

■ 主要事業一覧

（単位：千円）

事業名(補足説明)	事業費	左の財源内訳				
		国･県補助金	地方債	基金	その他	一般財源
地域脱炭素移行・再エネ推進事業	497,900	353,696	144,100			104
観光施設建設改良事業	312,613	71,814	140,700		100,000	99
地域おこし協力隊事業	270,825	988				269,837
百年の森林構想推進事業	115,542				46,216	69,326
次世代基幹システム整備事業	93,885			93,885		
推進交付金・創業　広域連携 カルベンチャー推進事業	84,950	42,350			250	42,350
ふるさと寄付金事業	77,000				77,000	
橋梁・トンネル修繕事業	60,520	36,602	23,900			18
デジタル田園都市国家構想交付金事業	56,300	28,150			1,500	26,650
推進交付金・関係人口創出 プラットフォーム構築事業	53,920	26,960	4,900			22,060

9～10 割地方交付税交付金として村へ交付される予定

■ 会計別予算状況

		令和5年度	令和4年度	増減率
合計		4,959,363	5,172,435	▲4.1
一般会計		4,126,782	4,303,736	▲4.1
特別会計	国民健康保険事業	299,303	336,714	▲11.1
	国保施設（直診）事業	63,213	61,898	▲2.1
	後期高齢者医療事業	20,018	20,402	▲1.9
	介護保険事業	256,240	260,475	▲1.6
	介護サービス事業	11,760	11,805	▲0.4
	小計	650,534	691,294	▲5.9
企業会計	簡易水道事業	84,125	86,592	▲2.8
	農業集落排水事業	97,922	90,813	7.8
	小計	182,047	177,405	2.6

（単位：千円,%）

■ 歳入（一般会計分）

		令和5年度	令和4年度	増減額	構成比
総　　額		4,126,782	4,303,736	▲176,954	100
自主財源	村税	137,283	133,151	4,132	3.3
	その他自主財源 注1.	943,102	778,130	164,972	22.9
依存財源	村債（借入金）	464,847	610,900	▲146,053	11.3
	地方譲与税・交付金など	75,465	66,779	8,686	1.8
	地方交付税	1,693,325	1,733,943	▲40,618	41
	国庫支出金	706,916	875,819	▲168,903	17.1
	県支出金	105,844	105,014	830	2.6

注1.使用料、繰入金、諸収入など

（単位：千円,%）

■ 基金の状況（一般会計分）見込

（単位：千円）

基 金 名	令和4年度末現在高 A	令和5年度		
		積立額 B	取崩額 C	年度末現在高(見込み)D=A+B-C
財政調整基金	215,538	1,091	100,000	116,629
減債基金	238,876	8,076	102,626	144,326
その他目的基金	1,083,565	101,032	174,629	1,009,968
(上記うち公共施設基金)	(794,990)	(3,959)	(93,885)	(705,064)
合 計	1,537,979	110,199	377,255	1,270,923

■ 地方債現在高（一般会計分）見 込

（単位：千円）

区 分	令和4年度末現在高 A	令和5年度		
		発行額 B	償還額 C	年度末現在高(見込み)D=A+B-C
地方債合計	4,813,278	464,847	515,452	4,762,673
うち臨時財政対策債	394,168	11,347	41,483	364,032

議会だより

定例議会

令和5年3月

青木村長所信

三寒四温を繰り返しつつ、穏やかな春を迎えようとしている今日この頃です。今年の寒波は岡山の県北でも記録的な豪雪となりましたが、一方で新型コロナウイルス感染症発生以来、第8波がようやく収束しつつある状況といえます。しかし、現下はコロナ禍による長期的な経済の減速傾向とロシアによるウクライナ侵攻の副作用がエネルギー価格の上昇や物価の上昇という形で私たちの日々の暮らしにも大きな影響となっています。また、気候変動、感染症、安全保障、エネルギー、経済対策など持続可能な社会を目指すにはこれらは全て重要なテーマでありますが、その全てのカテゴリーで、しかも同時に迅速な対応が迫られるという大変厳しい状況に置かれています。特効薬は無いわけですが、地球上の生命体、運命共同体としての共通した想いを一つにするには世界各国にはまだまだ大きな壁があることを改めて認識させられたところです。そういった意味では、私たちを取り巻く地域の現状も持続可能性という観点からは予断を許さない不安定な状況に有るといえます。地域の存在価値をどこに見つけ見出せるかは地域の意思にかかっています。そういった想いを形にしてきたのが合併を回避して以来の西粟倉村の歩みであったと振り返り考えるところです。

地方創生を「百年の森林に囲まれた上質な田舎」として掲げ、「生きるを楽しむ」を暮らしのスローガンとして、新しい持続可能な地域づくりのモデルとして「環境モデル都市」、「バイオマス産業都市」、「SDGs未来都市」「脱炭素先行地域」「デジタル田園都市」として多くのチャレンジやモデル事業に取り組む機会に恵まれました。まだ道半ばではありますが、村の目指す未来への大きな推進力になると考えています。

さて、令和5年度に取り組む主な事業を説明しますと、引き続き地方創生推進あるいは脱炭素推進に特色のある事業となっています。

主なものとしましては

①SDGs未来都市推進事業

2019年にSDGs未来都市（モデル事業）に選定されてから、各種事業に取り組んでいますが、来年度についてはSDGsの普及啓発を推進し、村での意識の醸成を図ることで持続可能な地域づくりを考え、進める機会をつくります。

②健康づくりや子育て、安全で環境に優しい村づくりなど様々なイベントへの参加促進や地域経済の活性化を目的とした行政ポイント付加サービスに取り組みます。

③地域おこし協力隊事業では、今期中の最大人数を62名とし、起業型、企業研修型、行政連携型など、様々な受け入れ形態を工夫することで、より実践的で効果の高い事業運営を目指します。

④3大都市圏にある企業からの人材派遣を受け地域活性化に取り組む地域活性化企業人事業にとり組み4名の派遣を受ける予定としています。

⑤関係人口プラットホーム構築事業では関係人口受け入れのための既存住宅の資源量調査や地域での移動環境の課題調査等、村内の移動ツールとしてのモビリティを設置するセンターの整備を行います。

⑥下土居地区に令和4年度に2棟建築したユニット型実証住宅を令和5年度では3棟追加し、低コスト住宅の可能性実証を行います。

⑦オープンデータプラットホーム構築事業ではオープンデータの可視化ツールの運用やシステムサービス利用料の設定、オープンデータコミュニティの場所の設置と住民への周知、また参加を促進します。

⑧先端技術による地域での労働に関する3K（キツイ・キタナイ・キケン）課題の解決実証事業として令和4年度で開発したツールによる実証実験を行います。稲の苗を育苗する際に有効な土壌菌を調査、実験を行い菌資材の導入試験を進めます。

村ではエネルギーの自立、自給を目指していますが、その先導的な事業として2カ所で小水力発電事業が稼働しています。さらにこれを進めるため、国の脱炭素先行地域に選定されたことも併せ積極的に脱炭素推進事業にとり組みます。

①小中学校の電気冷房設備の更新については、既に整備している地域熱供給システムにより地下水を活用した冷房設備に切り換えるため、令和6年度整備のための実施設計を行います。

②保健センターについては小中学校と同様に地域熱供給システムを利用、地下水による冷房設備に切り換える工事を実施します。

③建設中の新宿泊施設へ太陽光発電設備と蓄電池設備を導入、実施します。

④農業構造改善センター（旧JA）の電気による二酸化炭素排出量をゼロにするための太陽光発電設備の設置と蓄電池設備の整備。また、モビリティセンターを拠点とするた

めの充電器設備（急速充電1、普通充電2）を整備します。

⑤貯木場土場や村内製材所などで発生するバーク（木の皮）の処理については産業廃棄物となるため、処分費用がかかるという課題があり、これを解消し、加えて必要な木材チップの乾燥施設としてバーク及び未利用木材を燃料とするバイオマスボイラーを整備します。

⑥既存の再生可能エネルギー施設や今後整備予定の太陽光発電設備の発電量やエネルギー創出量・消費量を村民へお知らせする機能や村内で電力の調整を行うための電力データネットワーク基盤の整備を行います。

⑦教育環境の改善を図るため、小中学校の窓ガラスに断熱と省エネのための真空遮熱窓ガラスと高効率空調設備を導入し、冷暖房の機能の効率向上を図ります。さらに照明をLED照明に切り換える工事を併せて実施します。

⑧また、小中学校の電気による二酸化炭素排出量を実質ゼロにするための太陽光発電設備、蓄電池設備の設置を決定し、実施設計を行います。

⑨政府は地球温暖化対策として、2030年までに公用車の低公害車比率を100％とすることを決定しており、村の対策実行計画もこれに準じて比率を設定する必要があります。このため、脱炭素先行地域計画では、令和5年度から毎年1台ずつ電気自動車への切り替えを行います。

⑩村の課題は地域内での移動手段として、公共交通網が無いことで、これに対応するための様々な模索が続いており、令和4年度では小型モビリティの運用実証を行っています。このためトヨタ自動車（株）との協働により予約システムの開発や移動情報の取得、電池の残量データの取得などに目途が立っており、令和4年度に整備の6台に加え、実用に向けてさらに4台を整備する予定です。令和5年度ではその内2台を整備します。

以上が地方創生推進事業として、また脱炭素推進事業として令和5年度に予定している主なものです。

また、各分野における主だった事業について説明します。

●観光分野

「重点道の駅事業」の一環として木回廊整備、「グリーンリゾート管理費」として観光施設の民営化に向けた許認可、及び契約継承に関する切り換え調整と各施設の小規模改修など。さらに観光施設建設改良事業として「新宿泊施設」は令和5年度中に完成をします。

●林業

「百年の森林構想整備事業」として民有林の間伐約100ha、村有林皆伐3haを予定し、継続的に整備を進めます。

●農業

「多面的機能支払い交付金事業」に取り組み、「中山間地域直接支払交付金事業」と併せて重層的な支援制度を取り入れます。さらに、村内で水田農業の集約化を行う担い手に対する村独自の補助制度を新たに発足させます。

●建設事業

国土強靱化にともなう「橋梁・トンネル」の点検および修繕事業を始め、林道橋梁点検診断保全事業、林道開設、維持補修事業、また村道の維持補修事業に取り組みます。また事業収支の見える化への対応として、簡易水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計を公営企業会計へ切り換える適用事業に取り組みます。

●保健福祉事業

村民の健康管理に資する現行の様々な取り組みや事業を進めると同時に現役世代の未病への対策を新たに盛り込んだ「第3次西粟倉村健康21計画」を策定します。また乳幼児保育、病児保育等の負担緩和のために行う新たな預かり施設設置の検討を行います。さらに高齢者や要介護者になっても安心して「最後まで村で暮らせる」を念頭に、村での最適な医療・介護の形を模索する検討会を継続します。また、保健福祉課と診療所が一体となってデジタル技術や最新機器導入で健診を含むセルフチェック、セルフケアの充実を図ります。

●教育事業

ギガスクール構想による小中学校への情報化機器の導入にともなうセキュリティ機器、ソフトの整備とICT支援員の派遣による教員へのサポートを行います。また、様々な要因で一斉授業になじまない児童、生徒の不登校対策として、児童・生徒自身が主体的に考え、行動するための支援を小学校同様、中学校においても行う「自立応援教室」の設置。さらに学校教育と社会教育を同一の理念に基づき連動させながらサポートを行う「教育サポートセンター事業」を新たにスタートさせます。

●総合分野

村の事務を統括する基幹システムの標準化に向けた「次世代基幹システム整備事業」を継続して実施します。（3カ年計画の2年目）さらに、「行政デジタル化推進事業」として広報情報のLINE運用や、庁内及び議会のペーパーレス会議運用を図ります。また、従前の「定住促進空き家・宅地確保事業」を進めながら、今後は除却をともなう空き家対策として空き家対策協議会の運営や「空き家総合対策事業」で除却への補助制度を充実させます。また近年増加しつつある「ふるさと納税」、「企業版ふるさと納税」を促進する「ふるさと寄付金事業」に対して村のPRや取り組みを効果的に広報、紹介するための「ふるさとの魅力創造事業」に取り組みます。

福井 正 議員

質問事項

福井議員

新宿泊交流施設（旧称国民宿舎あわくら荘）の温泉浴場について

質問要旨

12月議会にて新宿泊交流施設に足湯は建設予定であるが、温泉浴場の建設予定はないとの事でした。新宿泊交流施設に関して住民の方々も関心をよせておられます。住民の方からは、「何で浴場をつくらないのか」と質問が多々あります。建設・運営の担い手には村役場のコンペティションを経てワンテーブルが採択されたのは承知の上です。この場をかりて温泉浴場を設置しない理由を、村長から住民へ、わかりやすい説明を願います。

答

青木村長

新しい宿泊施設の建設運営は、様々な観点から村の将来を見通し、また見込み客を想定し、ふさわしいサービスを提供する必要があります。国との交付金の調整、事業への民間手法の導入と財源確保、これまでにない新たな手法を模索した結果、「新宿泊施設建設運営に係るプロポーザル事業」として公募入札を行いました。

この事業は民間事業者の提案で建設運営する公共事業ですから、私が直接この質問にお答えする立場にないことをご理解頂いた上で説明します。

まず1つは、温泉を第一目的とした宿泊者を想定していない。2番目に、大規模な温浴施設あるいは各棟への温泉導入は、建設も維持もかなりのコスト高になる。3番目、黄金泉との二重投資を避ける。提案企業から、そういった話を伺いました。

収支の安定と最大効果を目指す民間事業です。温泉以外の魅力で利用者の確保を考えると理解をしています。

問

福井議員

新宿泊施設もまた、旧あわくら荘ができた時のように村民に夢と希望を与え、愛されるものでないといけない、そういう意味では、多くの住民の要望である温泉浴場の導入はお願いするものです。今までの国民宿舎とは差別化して、西粟倉を目的地として来てもらう方針で進めていくと村長からお聞きしました。顧客を呼び込む材料の一つとして温泉浴場は必要ではないでしょうか。村長は、新宿泊施設は公設民営やと、プロポーザルをされるとき施設の中に必ずこれとこれは入れてくれと、そういう要望を基にプロポーザルをされたと思いますが、何を伝えられたのでしょうか。

答

青木村長

あわくら荘の浴場を新しくして一般客も受けるとなると、現在ある黄金泉の位置づけはどうなるでしょうか。それも同じ一つの会社で運営します。二重投資を避ける意味は、あわくら荘に泊まる時に、温泉はあわくら荘にないけれどすぐ近くに温泉施設があり、そこを利用できる。投資効率を考えると黄金泉に集中投資をしていくと、説明を聞いて一定の理解をしています。

結

福井議員

宿泊施設とか商業施設は、5年に一度はお客様のニーズに応えるためリニューアルして、常に顧客の目を引きつけておく必要があります。ぜひとも今回の施設は5年に一度はどこか、この辺は触ろうという部分を見つけ、お客様の確保に努めてください。

岸本 直明 議員

質問事項

岸本議員

鳥取道出入り口の表示について

質問要旨

あわくらんど出口の一旦停止、坂根入り口の鳥取方面への案内を見直して欲しい。

今年の1月にはあわくらんど出口で国道走行中の車との大きな衝突事故がありました。また坂根入り口を通り越し、Uターンする車をよく見かけます。利便性の高い交通手段の一つでもあり、利用者も増えているように感じます。今後は片道2車線化が完成すれば更なる交通量の増加が考えられます。

村民の安全安心を守るため、あわくらんど出口一旦停止看板の見直し、坂根入り口のわかりやすい案内表示を早急に対応して頂きたい。

答

佐藤建設課長

当該インターチェンジの出入口の表示を確認したところ、交差点の形状に対して道路標識基準は満たされた状況です。今後は現状の危険性に対し更に理解を得られるよう、道路管理者である国交省鳥取事務所と岡山県に対して働きかけて参ります。

坂根入り口の鳥取方面の案内について、坂根地内に3基の案内標識があります。これらの標識の分かりにくさが要因の一つと推察されます。現在の案内標識は平成7年度に設置され、鳥取自動車道方面の表示がありません。

新たなトンネルを造る志戸坂防災事業が始まっています。事業の地元説明会において、坂根地区より国交省に対し、交差点手前の鳥取方面への案内看板の見直しを要望されました。村としても国交省と標識を管理する岡山県に対して改善要望をしていきます。

答

青木村長

新たな志戸坂防災工事で、トンネルをもう一本掘ることになります。発電所のところから道路が現況と逸れ、全く状況が変わっていきます。完成するのは恐らく10年後ぐらい、長期的にはそれでここは解消されます。アセスも含めた地元の色々な対策を国交省に取り継いでいきたいと思います。

問

岸本議員

トンネルが増えるのが10年先、その間危険な状態が続きます。特にあわくらんどの出口は、あわくらんどの方ばかり見て、右を見ずに出てくる車を何度か見かけます。何か抑止力になる目立つ看板があって良いと考えます。

また、坂根の入り口を通り過ごして大茅までくる車は何度も見ています。特に、大型車は転回する場所が限られ、積雪時はスタックする可能性もあります。坂根の入り口までの間に何ヶ所か分かりやすい案内看板を村として出せないものですか。

答

佐藤建設課長

道路標識は、岡山県の管轄となります。県も国交省も非常に分かりにくいのは認識されています。看板を国交省がつくって設置し直すか、もしくは県の看板に案内を付け加えるか、そういった対策を進めようとされています。トンネル開通までにではなく、早急な対策をお願いしています。

結

岸本議員

今後も県などに要望をしっかり伝えていただければと思います。

保育園

16名で元気にスタート

暖かな陽気とともに村内の桜も満開になった4月3日（月）に西粟倉保育園の入園式・進級式を行いました。「森林の中で、未来に向かう子どもたちの〝きらきら〟を大きく育む」を保育理念に2名の新入園児を迎え、0歳児1名、1歳児10名、2歳児5名で新年度がスタートしました。

新しい環境になり少し不安な様子もありましたが、すぐに子どもたちはそれぞれ好きな遊びを見つけて楽しんでいます。そしてタンポポやつくしなどの春の草花や鳥や蛙などの生き物を見つけながら、散歩や外遊びを楽しむ毎日です。今年も一人ひとりが安心して楽しく過ごせる場所になれるよう職員一同力を合わせて取り組んでいきます。

入園・進級おめでとう

4月12日（水）、幼稚園の入園式を行いました。うさぎ組の元気でかわいい3名の子どもたちが、保護者の温かいまなざしに見守られながら、入園してきました。

うさぎ組が入園してきて、くま組12名、ぞう組9名で、合計24名になりました。

今年も、子どもたちは村たんけんにあちこち出かけていきます。村内で子どもたちを見かけられたら、手を振ったり声をかけたりしていただけたらと思います。よろしくお願いします。

幼稚園

小学校

～小学生として、はじめの1歩を踏み出した12人の子ども達～

うららかな春の日差しに包まれて、令和5年度西粟倉小学校の入学式が行われました。

ご入学おめでとうございます。多くの人が見守る中、6年生に付き添われて、12名の新1年生が入場してきました。どの子も張り切っていて、緊張の中にも新しい生活への期待感が感じられました。

着席後は、担任の先生からの呼名です。一人一人がしっかりとした大きな声で返事をして立ち、会場の参加者全員に紹介してもらいました。校長先生はお話の中で、3つの約束を話されました。挨拶の大切さ、話を聞ける人になること、そして、いろいろなことに挑戦しようという内容でした。優しい口調の中にも、成長を期待する熱い思いが伝わってきました。お祝いを述べられた青木村長の言葉の中に、「子どもは村の宝です。」という一節がありました。宝である子どもさんを6年間お預かりして、優しさと厳しさをもって「玉（宝）を磨いて、光を放つ人になってほしい」と感じた、今日この時でした。

中学校

～新学年がスタート！～

4月7日に令和5年度着任式と1学期始業式を行い、新たに着任された先生方と2年生・3年生が対面しました。そして4月10日の入学式で新入生17名を迎え、教職員22名と生徒42名がそろいました。

入学式では校長先生から3つのお話がありました。1つめは、「今の気持ちを大切に」。新学年の目標や希望を実現させるために粘り強く努力を重ねて自分を成長させよう。2つ目は、「人を大切に」。人は人に支えられて成長していく。気持ちや考えを交流し、さらに考えを深め、周りの人の良さや頑張りを認め、苦しさを理解し、同じ人間として大切にできる人になろう。3つ目は「凡事徹底」。当たり前のことが当たり前にできる人になろう。というお話がありました。校長先生の式辞は、新入生だけでなく、全校生徒に向けられたお話です。地域や家庭のご協力を賜りながら、職員と全校生徒で新たな西粟倉中学校の伝統を築いていきます。

あつまる、つながる、やってみる

あわくら会館

あわくら会館で行われる「生きるを楽しむ」イベント・活動

あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

こうじん園長の小さなふしぎ動物園

3／26（日）にたくさんの珍しい生き物たちを引き連れてこうじん園長がやってきました。カメやトカゲだけでなく、意外とかわいい野生のゴキブリもやってきました！生き物との触れ合いもできて、とてもにぎやかな動物園でした。

わんこ読書会

3／26（日）にスーちゃん（わんこ）の読書会がありました。今回から当日予約制で一組ずつスーちゃんと触れ合えたので、参加者ものんびりと癒しの時を過ごせたようでした。来月もこうじん園長の動物園と合同開催です！

定例開催中！（わんこ読書会・合気道教室）

わんこ読書会ほか、合気道西粟倉教室も4／22（土）から定例開催中です。この合気道教室は中学生にはお馴染みの美術教師茶室隆一先生が教えてくださいます。自分の体力に合わせてできるので、お気軽にご参加ください。

【村民講師、募集中です！】

あわくら会館では大人も楽しく学び合える場を目指し、村民が講師となる村民企画講座を行っています。あわくら会館で、自分の好きなことや趣味を生かした講座をしませんか？きっと村民同士のつながりや学びが生まれるきっかけにもなるはずです！

ご興味のある方はあわくら会館・図書館カウンターまでお問い合わせください。

図書館からのお知らせ

県立図書館から借りている本の入れ替えをします！

年２回、県立図書館から一般書・児童書あわせて８００冊ほどの本を借りています。５月が今年度一回目の入れ替え日です。５/９（火）以降には新しい県立図書館の本が並びますので、図書館にお越しの際はぜひご覧ください。

※あわくら会館イベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

こども読書週間どきどきウィークは～5/21日（日）まで♪

4/23（日）から開催しているどきどきウィークもあと少しとなりました。期間中に５冊本を借りるとすてきな景品の当たる抽選会に応募ができます。ぜひ本を借りてご応募ください♪

×5

図書館のおやすみ　5月　3日（水）～ 5日（金），29日（月）

ご利用案内
- あわくら会館 開館時間　8：30～22：00
- あわくら図書館 開館時間　10：00～18：00
- 図書館の休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始

図書館の新刊案内

『まるちゃんの老いよボチボチかかってこい！』上村悦子／著　クリエイツかもがわ　一般書

兵庫県西宮市にある「つどい場さくらちゃん」。数多の相談を受けてきたまるちゃんがある日突然、介護する側から介護される側に！？「老いを受け入れること」の難しさ、大切なポイントを語ります！

『「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方』朝倉書店　一般書

「観光まちづくり」に必要となる調査法と考え方の筋道をわかりやすく！地域の風景や社会構成とつながりを知る、地域観光のあらましを数字で捉える、災害に備える観光まちづくりを考えるなどするための入門書です。

『長澤恵のティッチャイタイ料理教室』長澤恵／著　笑がお書房　一般書

初めてのタイ訪問で様々な味が一体となったタイ料理の美味しさと食材の豊富さに衝撃を受け、やみつき（ティッチャイ）になってしまった著者。本場のレシピの中から家庭で作りやすいメニューを選んで紹介しています。

『ぼくはいったいどこにいるんだ』ヨシタケシンスケ／作　ブロンズ新社　児童書

発想えほん第５弾！じぶんのことをちずにしてみると、わかることがたくさんある。いまどこにいるのか、このあとどうしたいのか、なにがだいじなのか・・・ちずって、おもしろい！ヨシタケシンスケ流、頭と心の整理整頓。

※書籍の情報は版元ドットコムHPより

お問い合わせ先　あわくら会館・図書館　TEL 0868-79-2116　教育委員会事務局　TEL 0868-79-2216

献血にご協力ください～移動献血車が来ます～

日　時：６月８日（木）１２時１０分～１３時（受付）
場　所：いきいきふれあいセンター

献血は、直接人の命を救う、とても大切なボランティア活動です。手術やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うため、献血にご協力ください。西粟倉村での献血は年１回となりますので、ぜひこの機会にご協力をよろしくお願いいたします。

献血にあたってのおことわりとお願い

200ml の献血製剤は今まで多くの皆様方にご協力いただいた献血で十分な状態になっています。一方、大量の輸血を必要とする手術に必要な 400ml の献血製剤が不足しております。今回は 400ml 全血献血のみ（体重 50kg 以上の方のみ可）の受付とさせていただきます。ご了承ください。

保健福祉課　79-2233

下水道使用料の免除制度について

ご家族が就学、病気などで一定期間不在になる場合を対象として、申請をして頂くことで、下水道使用料金を減額・免除いたします。住民票も併せて異動された場合は、自動的に減額されるため申請は不要です。

○免除制度（ご家族が入院や就労のため、村外へ生活を移すとき）
→申請をして頂くことで、使用料金から対象者の人数×４４０円を免除致します。

※居住実態の把握のため、毎年度末の更新が必要です。
(現在ご利用中の方には通知を送付しています。新年度もご利用の場合再度申請をお願いします。)

○減額制度（子どもが高校・大学等へ進学・就学のため、居住を村外へ移すとき）
→申請をして頂くことで、使用料金から対象者の人数×４４０円を減額致します。

※夏休み等の長期休暇を考慮し
　５月 20 日までに申請があった場合　⇨　４・５月の２ヶ月分は減額されません。
　６月以降に申請があった場合　　⇨　申請日から２ヶ月後減額適用となります。
※学生であることを証する資料（学生証など）の写しを添付してください。
　対象者として不適格であるにもかかわらず、不正に免除制度を利用し続けた場合は過料が発生致します。

詳しくは役場 HP もしくは建設課までお問い合わせ下さい。

建設課　79-2231

受けてください 命を守る健診

令和５年 総合健診のお知らせ

今年も健診の季節になりました。年１回健診を受けて一年間健康に過ごしましょう。

婦人科検診　　会場：いきいきふれあいセンター

5/18（木）	婦人科検診 午後３：００～６：００ ※受付時間は5時30分まで	5/19（金）	婦人科検診 午前９：００～12：００

総合検診　結核・肺がん検診

日時	午前（総合健診）	受付時間	午後（結核・肺がん検診）	受付時間
5/23（火）	別府　下土居 筏津　知社	７：３０～９：３０	下土居公民館	１：３０～１：５０
			筏津公民館	２：００～２：２０
			知社公民館	２：３０～２：５０
			いきいきふれあいセンター	３：３０～５：００
5/24（水）	塩谷　引谷 中土居	７：３０～９：３０	塩谷公民館	１：３０～１：５０
			新田茂様宅	２：００～２：２０
			引谷公民館	２：４０～３：００
			西粟倉駅	３：１０～３：30
5/25（木）	大茅　坂根 影石	７：３０～９：３０	草刈鈑金下	１：３０～１：５０
			大茅公民館	２：００～２：４０
			あわくら温泉駅	２：５０～３：１０
			谷口公民館	３：２０～３：４０
			いきいきふれあいセンター	３：５０～５：００
5/26（金）	猪之部　谷口	７：３０～９：３０	＊混雑を避けるため地区割をしていますが、ご都合の良い日にお越しください。	

健診を１つ以上受けられた方には、あわポを５００P付与します

○料金一覧

種別	対象者	検査内容	料金	注意事項
基本健康診査 特定健診 高齢者健診	30～３９歳 ４０～74歳の国保加入者 75歳以上	血液検査/検尿 心電図/身体測定/ 腹囲測定/内科健診 /健康相談	1500円	**・朝食は食べずにお越しください。** ・尿は、朝一番の尿で、出始めは捨て、できるだけ中間の尿を取ってください。 ・容器の3分の１から半分程度の尿を取ってください。
胃がん検診	３０歳以上	胃部 間接撮影	1000円	**・前日の夜9時以降は飲食禁止。**たばこも禁止 ・水分は夜12時以降禁止。 ※血圧の薬は早朝６時までに50ccの水で服用ください。
大腸がん検診	３０歳以上	便潜血反応	500円	・同封されている説明書をよくお読みください。 ・胃がん検診（バリウム検査）を受けられた方は、バリウムが排便されなくなってから採便してください。 ・便は、検診日（提出日）を含めて5日間の間に2回採便してください。
結核・肺がん検診	３０歳以上	胸部レントゲン	200円	
前立腺がん検診	５０歳以上の男性	血液検査	800円	
Ｃ・Ｂ型肝炎 ウイルス検診	年度内に４０歳になる人 ４１歳以上で未受診の人	血液検査	700円	

婦人科健診

マンモグラフィ （乳房レントゲン）	４０～４９歳 ５０歳以上	２方向撮影 １方向撮影	1500円 1000円	・金具のついていない下着1枚なら、着用したまま撮影できます。
子宮頸がん検診	２０歳以上	内診 子宮頸部細胞診	800円	
骨密度測定	３０歳以上	超音波測定	500円	かかとで計測します

保健福祉課　79-2233

ＳＤＧｓ未来都市にしあわくら 村の未来を創る、考える

第34話

デジタル社会との向き合い方

デジタル機器の普及が進み、村役場での手続きもスマートフォンで出来るようになりつつある今、デジタル化とＳＤＧｓとの関係について考えてみましょう。

昨今、国のデジタル庁が発足し、民間でもＩＴ（情報技術）化の推進が全国で行われています。ここ最近ではマイナンバーカードの普及が促進され、カードを活かした行政手続きが今後増えていくことが予想されています。また、世界ではＣｈａｔＧＰＴ（※）をはじめとする身近により使いやすいＡＩ（人工知能）技術の発展も進んでいます。

２０３０年のＳＤＧｓの達成に向けて、これまで実現不可能だった課題を解決する手法として、人工知能を含む、デジタル技術の活用が期待されているのです。

例えば、「食品ロスの減少」を目指す場合、各家庭の冷蔵庫の情報や嗜好、各店舗の在庫情報を解析することで、出荷元である農家や物流に適切な指示を与え、今まで物流過程で出ていた食品ロスを減らすことが期待されます。

一方で、デジタル技術の普及は必ずしも社会や人々を幸せにするとは限りません。必ずしも人工知能は正しい答えを導くわけではありません。また、急激に発達するデジタル技術を活用できる人とできない人による差が生まれたりもします。そして、デジタル化には倫理的・社会的な問題をはらんでいる部分もあり、見過ごすことはできません。

ＳＤＧｓの「全ての人がより良く生きる」という視点から申し上げると、「デジタル化によってどんな世界が来るのか？」ではなく、「私たちが目指したい社会を作る上で、デジタル技術はどのような役割を果たせるのか？」という意識を持つ必要があります。一人ひとりが「どうしたいか」を、信念や道徳に基づき考え、より幸せになる暮らしを築いていきましょう。

図：デジタル技術の使い方・考え方（SDGs の視点から）

参考：『ＳＤＧｓ思考（社会共創編）、田瀬和夫』第８章より

※ｃｈａｔＧＰＴ…米研究機関によって開発された、言語処理コミュニケーション人工知能

（地方創生推進室 萩森）

令和５年度版

西粟倉村

脱炭素先行地域計画

２０３０年までにＣＯ２排出の実質ゼロを目指す

令和５年度も脱炭素先行地域の取り組みを進めます！

西粟倉村は、２０２２年４月に脱炭素先行地域の選定を受け、２０２７年までの５年間で、公共施設や観光施設、村営住宅などへの、太陽光発電の導入や、モビリティの導入、新電力会社の設立などを予定しています。

令和４年度に実施した取り組みと、２年目の令和５年度実施予定の取り組みついて、村の生活や村民の皆さまが利用するエネルギーがどう変化するのか、今月の特集記事にしてお伝えいたします。村民の皆さまにもご協力頂く機会が増えることが予想されますが、どうぞよろしくお願いします。

令和４年度の導入実績

西粟倉林産物需要拡大施設
太陽光設備（25kw）・蓄電設備（30kw）の導入

（株）西粟倉・森の学校製造所
太陽光設備（112ｋｗ）整備補助の導入

チップ乾燥施設
太陽光設備（9kw）・蓄電設備（9kw）の導入

電気自動車購入
電気自動車への更新６台の導入

エネルギーマネジメントシステム設備
通信インフラ整備と各施設にセンサー設置
（令和５年度も継続）

地域新電力事業者の立ち上げ
地域新電力会社「西粟倉百年の森林でんき株式会社」2023年設立

令和５年度の導入予定

電気自動車購入
電気自動車への更新１台の導入

西粟倉村立小学校
高効率空調設備、真空遮熱ガラス、LED 照明の導入

西粟倉村立中学校
高効率空調設備、真空遮熱ガラス、LED 照明の導入

チップ乾燥施設
チップ乾燥用バイオマスボイラ整備の導入

西粟倉村新宿泊施設（ホテル）
太陽光設備（50kw）・蓄電設備（150ｋｗ）の導入

国保総合保険施設いきいきふれあいセンター
地中熱利用設備（冷房）

西粟倉村構造改善センター
太陽光発電設備（20kW）、
蓄電設備（20kW）、充電設備の導入

特色ある教育通信

中学生に向けてステップアップ！「生活力ミッション」

子どもたちの「やってみたい！」を叶えるお手伝いをするあわくらみらいアカデミー

今回は、卒業したての6年生を対象に「生活力ミッション」と題して、あわくら会館で宿泊イベントを行いました。

まずは、買い物に挑戦です。スーパーに到着すると行きの電車の中で相談して作った買い出しリストを元に、買い物スタート。予算は5，000円です。しかし、レジに進むとなんと400円ほど足りません。慌てて上の方にある商品をキャンセルしてもらい、予算内に収めることができました。

会館に戻ると、夜ごはん作りです。予定していたよりも倍の時間をかけて、ようやく夜ごはんが完成しました。ご飯を食べてみると、味が薄いスープとごはんがかたいパエリア…なかなか上手くいきませんでした。

振り返りでも「お母さんは毎日パパっとおいしいごはんを作れてすごいと思った。」という感想が。料理作りの難しさと保護者のすごさを実感したようでした。

2日目の朝はごはん作りのリベンジからスタート。「スープもサンドイッチもおいしい！！」と、今回の料理は上手くいったようです。

今回は、「相手と自分の意見を大切にしよう！」がテーマでした。子どもたちは、お互いの考えを交流させながらミッションに挑戦することができました。

これからも誰かと協力しながら、上手くいくことも上手くいかないことも含めて、生活を楽しんでほしいと思います。

教育コーディネーター　今井晴菜

むらまるごと研究所通信

Vol.17

むらまるごと研究所活動報告会を開催しました！

むらまる研の取り組み内容について村民の皆さまにご報告することを目的として、3月25日のオープンデイにて、令和4年度の活動報告会を開催しました。現地会場には村内外の方30名が、オンライン配信には村外の拠出者の方を中心に10名の参加がありました。

報告会では、各事業を担当している研究員から、むらの工作室や調理室を活用した「む labo」での活動、自動走行草刈り機の実証、超小型電気自動車の運用実証による村民・来村者利用の開始など、昨年度の取り組みについて報告を行いました。また、今後の目標などについて対談を実施しました。

村役場からは、地方創生推進室の上山参事にもご登壇いただき、むらまる研の活動へのさらなる期待についてコメントを頂きました。

報告後の質疑応答の時間では、会場にお越しいただいた村民の方々から「一人ひとりへの暮らしに寄り添えているのか」「地元住民の話を聞けているのか」「高齢者を中心とした移動サービスについてはどのように考えているのか」といったご意見・ご質問をいただきました。

昨年度のむらまる研は、運営体制の変更や、具体的な取組みの着手など、変化の大きい１年でした。様々な事業や活動に取り組んできましたが、まだまだ数も少なく、課題解決・ねがいの実現につながる事業には至っていないと思っています。今年度も、１つ１つ取組みを進めつつ、見学会や報告会を定期的に開催することで、皆様の意見を伺い、よりよい取り組みになることを目指していきます。

また、各事業が、村民の方にとって利用しやすいもの・価値あるものになるような、運用や提供の方法についても、検討していきます。

西粟倉村に「むらまる研」があって良かった！と言ってもらえる・思ってもらえる、そんな場づくりや実証事業に向けて、取組みを進めていきます。

ぜひ、気軽にむ labo にお越しいただき、研究員にご意見・ご質問をいただければ幸いです。

一般財団法人西粟倉むらまるごと研究所

西粟倉村新規採用職員等紹介

４月から新しいスタッフが加わりました。今後様々な面でみなさんのお世話になると思います。よろしくお願いします。

新規採用職員

【氏名】桂田　佳織（かつらだ　かおり）
【配属先】産業観光課　【趣味】旅行　カフェ巡り　【ひとこと】環境衛生や観光事業を担当させていただきます。村民の皆さまの暮らし、村の発展に貢献できるよう、どんなことも楽しんで明るく頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

【氏名】北村　朋也（きたむら　ともや）
【配属先】教育委員会　【趣味】サッカー観戦　【ひとこと】はじめまして。兵庫県明石市から来ました北村朋也と申します。教育を通じて村の良さを最大限に活かして西粟倉村を盛り上げられるように精一杯頑張ります。

【氏名】都築　初乃（つづき　その）
【配属先】出納室　【趣味】古くてベタな映画を繰り返し観ること、料理
【ひとこと】４月から西粟倉村役場に勤めています。愛知県の刈谷市出身です。不慣れでご迷惑をかけることも多いと思いますが、お役に立てるよう頑張ります。まずは村内を散歩したいです。

【氏名】土居　武晴（どい　たけはる）
【配属先】建設課　【趣味】釣り、読書　【ひとこと】西粟倉村役場で働かせていただいております。少しでもお役に立てるよう努めてまいりますので、よろしくお願いします。

地域おこし協力隊
【氏名】大谷　夏子（おおたに なつこ）
【配属先】地方創生推進室　【趣味】読書、ギター【ひとこと】大谷夏子と申します。地域おこし協力隊として、昨年度までの四年間はエーゼロ株式会社で働いていました。これまでいただいた繋がりや経験を活かして頑張ります！

診療所医師
【氏名】石田　智治（いしだ　ともはる）
【勤務】日本原病院　【ひとこと】木曜日と金曜日の午前外来を担当します、石田といいます。美作地域の勤務は初めてですので色々とお話いただけると助かります。よろしくお願いします。

診療所医師
【氏名】伊東　愛（いとう　あい）
【勤務】大原病院　【ひとこと】初めまして４月からお世話になります。皆さんの健康向上にお役に立てればと思いますので何かあれば気軽にご相談ください。

総務企画課　79-2111

あわくら大学３月講座　修了式

３月15日（水）に、あわくら会館百森ひろばにて、令和４年度の修了式を行いました。式では、来年度進級される大学生や皆勤賞・精勤賞を受賞された大学生に、村長から表彰状が授与されました。表彰後の学業報告では、社会見学で蒜山を訪れたり、竹でできたパンフルートを鑑賞したり、楽しかった一年間の振り返りを行いました。

＊ 新入生の募集 ＊

あわくら大学では、新入生を募集しています。年度途中の加入も大歓迎です。
大学生の皆さんと一緒に、楽しい時間を過ごしませんか。

教育委員会　79-2216

吉井川水防演習を開催します！

内容：消防団、関係機関と連携し、吉井川の洪水を想定した総合的な演習を実施します。
日時：令和５年５月27日（土）９時～12時
場所：岡山県和気郡和気町原地先（吉井川右岸河川敷〈和気橋下流〉）
主催：国土交通省中国地方整備局、岡山県、和気町、西粟倉村他吉井川流域市町村

災害発生時の活動を訓練！西粟倉村の消防団も参加します！
一般観覧あり、展示コーナー多数（水防工法や地震・豪雨体験コーナー等）
災害時に活躍するヘリコプター・車両等が大集合！ YouTube LIVEでも配信します！

総務企画課　79-2111

令和５年度　普通救命講習（個人）予定表

令和５年度応急手当の普及啓発として、普通救命講習Ⅰ（修了証交付）の講習を下記のとおり実施します。

※業務都合等で中止する場合もあります。

	普通救命講習Ⅰ（個人）		
	開催日	時間	定員
講習日及び時間	令和5年 ５月20日（土） ６月17日（土） ７月15日（土） ８月19日（土） ９月９日（土） 10月21日（土） 11月18日（土） 12月16日（土） 令和6年 １月20日（土） ２月17日（土） ３月16日（土）	９：00 ～ 12：00	概ね10名
申し込み方法	受講日の１週間前までに消防署へ電話でお申し込みください。		
受付及び問い合わせ	美作市消防署　救急係	〒707-0024　美作市楢原下1100 TEL（0868）72-2603	
講習会場	美作市消防本部		
費用	受講料は無料です。		
講習の注意点	お一人から受講可能で、当日は動きやすい服装でお願いします。 遅刻や早退があれば講習修了とは認められません。		
※ 応急手当 web 講習（e-ラーニング）について	e-ラーニングとはインターネットを利用した講習です。パソコン、スマートフォン、タブレット等を使用して、事前に救命講習の座学部分（1時間）を受講するものです。受講していただくことで前半の1時間が免除され、2 時間の講習となります。（10：00～12：00） 詳細は美作市ホームページをご覧いただくか、お問い合わせ下さい。		

お問合せ　美作市消防署　救急係　0868-72-2603

広報誌　温泉利用割引券の変更について

広報誌巻末の村内温泉施設の利用割引券について、湯～とぴあ黄金泉入浴料金の変更に伴い割引料金内容が下記のとおり変更となります。

変更前	大人：７００円→５００円 小人：５００円→４００円

変更後	大人：８００円→６００円 小人：６００円→５００円

前月号までに発行された割引券についても、４月の黄金泉料金改定に伴い、上記価格の通りとなりますのでご了承ください。

産業観光課　79-2230

おしえてねんきん

【国民年金の加入方法】
国民年金は、誰もが加入する公的年金制度です。基本的に日本に住む２０歳以上６０歳未満のすべての方は、国民年金に加入する義務があります。加入者は、職業などによって次の３つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。

〈第１号被保険者〉
２０歳以上６０歳未満の農業者･自営業者･学生･フリーター･無職の方などです。
加入手続きは、ご自身で住所地の市区役所・町村役場の国民年金担当窓口で行います。

〈第２号被保険者〉
会社員や公務員などの厚生年金保険に加入されている方です。
加入手続きは、勤務先が行います。

〈第３号被保険者〉
第２号被保険者に扶養されていて年収130万円未満の20歳以上６０歳未満の配偶者の方です。加入手続きは、第２号被保険者の勤務先を経由して行います。

◆ 会社を退職したときは、第２号被保険者から第１号被保険者への変更の手続きが必要となります。また、第２号被保険者に扶養されている配偶者の方も第１号被保険者への変更手続きが必要ですので、お早めに手続きをお願いします。

お問合せ　津山年金事務所　0868-31-2360

俳句

あわくら俳句教室　四月句会　　選者　乾　北星

静けさや鯉の背中に桜しべ　　春名知子
桜しべ降る武蔵の地そよ風来（く）　　乾　沙織
満天星の花を隠したつもりの葉　　宮本竜治
夏足袋の軽く歩きて友来る　　小椋仁美
主なき庭に繁りし猫柳　　小坂康子
桜ふる津山城址をあふぎ見る　　春名サラ

「兼題」
宮本武蔵生誕地
吟行句会
自由題

選者吟
春惜むたけぞう茶屋の句の講義

○次回は五月二十日（土）毎月第三土曜日の午後一時三〇分からあわくら会館で活動しています。丁寧に教えますので、初心者の方もぜひご参加下さい。

川柳

栗の実川柳社　令和五年四月句会から

「社会人」
成人に育ててくれた父母の愛　　西本　栄子
春が来る友と別れて社会人　　河野　孝子

「桜」
散る桜名残惜しんだ散歩道　　清水　早苗

「弁当」
弁当に妻の想いの野菜、肉　　井上　吉男
駅弁で旅の楽しさ盛り上がり　　建元　照子

「自由吟」
還暦で初心に戻り「かきくけこ」　　河野　紀子
手拍子も弾んで嬉し花の宴　　熊見まちこ

人の動き

令和5年4月1日現在の動き

3月中の移動	
出生	3人
死亡	0人
転入	7人
転出	13人

● 人口　1,355人（-3）　● 男　644人　（-1）
● 世帯　594戸　（2）　● 女　711人　（-2）

■ お誕生おめでとう

神崎（かんざき）　咲良（さくら）ちゃん
3月10日生まれ（別府住宅）
お父さん　神崎　拓也さん
お母さん　浩子さん

井上（いのうえ）　咲太朗（しょうたろ）ちゃん
3月15日生まれ（別府）
お父さん　井上　達哉さん
お母さん　宏美さん

■ 亡くなられた方

坂本　和夫 様　（影石）　4月3日　84歳
萩原　君江 様　（大茅）　4月5日　90歳

善意の窓

令和5.3.25　～　令和5.4.24

● お大事にしてください　別　府　國里　都代子 様　本人様　退院内祝
● ありがとうございました　坂　根　宮本　節子 様　本人様　転出

お知らせ

「広報にしあわくら」についての意見・要望、ご自身のやっていること・やりたいことを紹介したい、協力者募集等々どなたでもお気軽に投稿してください。
村内企業限定で求人情報も掲載します。

村民掲示板

やりたいことやイベント情報を発信したい！
協力者募集！などの声を大募集＆発信中！

［投稿方法］
・PCから…
西粟倉村役場ホームページにアクセス→ 画面上「お問い合わせ」→「村民掲示板」へ
・あわくら会館内（図書館受付）に設置してある掲示板用紙を投稿箱へ

◀ 村民掲示板ページＱＲコード

留意事項
毎月広報係が内容を精査し、掲載の可否を決定します。（15日頃までの投稿を次号へ掲載）
事業性のある広告は一般チラシとして有料で折り込みを受け付けています。

黄金泉	大人800円→600円 小人600円→500円	黄金泉	大人800円→600円 小人600円→500円	黄金泉	大人800円→600円 小人600円→500円	黄金泉	大人800円→600円 小人600円→500円	黄金泉	大人800円→600円 小人600円→500円
元　湯	大人500円→400円 小人250円→200円 （小学生未満無料）	元　湯	大人500円→400円 小人250円→200円 （小学生未満無料）	元　湯	大人500円→400円 小人250円→200円 （小学生未満無料）	元　湯	大人500円→400円 小人250円→200円 （小学生未満無料）	元　湯	大人500円→400円 小人250円→200円 （小学生未満無料）

地域福祉推進のために

社協だより

赤十字活動資金 ご協力のお願い　～５月は赤十字運動月間です～

日本赤十字社では毎年５月を「赤十字運動月間」と定め、より多くの方々に赤十字の活動をご理解いただき、赤十字活動資金にご協力いただけるよう、お願いしています。赤十字の活動継続のため、活動資金（ご寄付）へのご協力をお願いいたします。

皆さまからお寄せいただいた活動資金（ご寄付）は、災害時に対応するための平時の備えとして、災害救護訓練、赤十字防災セミナーの普及、救援物資の備蓄に活用されたり、地震や台風などの災害時発生時に、全国の赤十字と連携し被災地に駆けつけ救護活動を行うために使われます。

令和５年度　岡山県支部　重点項目

①災害救援体制の整備

②防災・減災の知識・技術の普及促進

③地域包括ケアの推進

社協杯グラウンドゴルフ大会

令和５年３月２４日（金）に社協杯グラウンドゴルフ大会を開催しました。雨模様のお天気でしたが、白熱した試合が繰り広げられました。

【成績結果】
優　勝　　豊福　秀樹さん（猪之部）
準優勝　　萩原　直也さん（影　石）
第３位　　建元　泰博さん（筏　津）

社会福祉協議会より報告

“住み慣れた西粟倉で今後も安心して暮らしていく”お手伝いを引き続き行ってまいります。何かあったらご相談ください！

生活応援センター楽々活動報告

“ちょっとした困りごと”をお手伝いするボランティア「生活応援センター楽々」の令和４年度の報告です。令和４年度は、16人の依頼会員より、133件の依頼があり、延べ１８８人の応援会員が活動してくださいました。

【活動内容】
部屋の掃除（トイレ・風呂・掃除機掛けなど）
ゴミ出し・買い物代行・衣替えなど

生活応援センター楽々は、子育て世帯から高齢世帯誰でもご利用できます。お気軽にご相談ください！

ちょいボラ・ミニシルバー始めてみませんか？時間のある時にちょっとだけのお手伝いで助かる人がいます！

ミニシルバー人材センター活動報告

令和４年１０月に「ミニシルバー人材センター」を立ち上げてから、多くの方の利用がありました。
令和４年度会員数（男２４名・女性１４名）
依頼件数　一般　１３０件
　　企業・役場　１３件
作業内容　選定・草刈り・農作業・屋根の修理
　　庭掃除・屋内掃除・倉庫片づけ・犬の散歩・発電所管理など

一時預かり託児「おひさま」活動報告

令和４年度は、コロナのため、規模を縮小して実施しました。
集団託児　６件　　個人託児　２件
延べ８名のボランティアを派遣しました。

PICK UP!

第１６回春季全日本小学生男子ソフトボール大会に出場！

３月２５日～３月２７日まで静岡県で行われた「第１６回春季全日本小学生男子ソフトボール大会」に西粟倉小学校５年生（出場時）の森下幸明くん（佐良山ソフトボールクラブ）が岡山県代表として出場しました。大会前には役場を訪れ、青木村長以下役場職員を前に意気込みを語りました。大会では、惜しくも敗退しましたが、全国大会出場という経験を糧にさらなる活躍を期待しています。（教育委員会）

第 12 回 Let’s ウォーキングを開催しました！

令和５年４月９日（日）に、第 12 回レッツ・ウォーキングを開催しました。コンベションホール（谷口地区）から志戸坂峠の円山公園（坂根地区）までの往復 6kmを、４２名の参加者が歩きました。「春の歴史の道を歩こう！」をテーマに志戸坂峠にちなむクイズに挑戦したり、山や川沿いの草木、花を楽しんだりしながら、ウォーキングを満喫されていました。ゴール後には、達成感の笑顔がいっぱいでした。

（保健福祉課・教育委員会）

5/8	月		可燃
9	火		
10	水		
11	木		可燃
12	金		かん
13	土		
14	日		
15	月		可燃
16	火		
17	水		
18	木	婦人科健診（P２０）	可燃
19	金	婦人科健診（P２０）	資源
20	土		
21	日		
22	月		可燃
23	火	総合健診（P２０）	
24	水		
25	木		可燃
26	金		びん
27	土		
28	日		
29	月	図書館休館日	可燃
30	火		
31	水	納：固定資産税第１期	
6/1	木		可燃
2	金	総合相談会（いきいきふれあいセンター）	資源
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		
7	水		

広報
令和5年5月号
No.720

発行　〒707-0503　岡山県英田郡西粟倉村影石 33-1
西粟倉村役場　総務企画課
TEL 0868-79-2111　FAX 0868-79-2125
印刷（資）谷本弘輝堂

森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と森林の再生に取り組み岡山県西粟倉村との連携により実現した「森の町内会－間伐に寄与する紙－」を使用しています